

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	0572607380
法人名	社会福祉法人 柏仁会
事業所名	グループホームありす刈和野
所在地	秋田県大仙市刈和野字愛宕下 8 5 番地 (電話) 0187-87-3555
評価機関名	財団法人秋田県長寿社会振興財団
所在地	秋田市御所野下堤 5 丁目 1 - 1
訪問調査日	平成21年11月11日

【情報提供票より】 (平成21年10月23日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成14年7月1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	8 人	常勤	7 人, 非常勤 1 人, 常勤換算 8 人

(2) 建物概要

建物構造	木造り
	1 階建ての ~ 1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	24,660 円	その他の経費(月額)	14,310 円	
敷金	有 (円) ○無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 (円) ○無	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 1,050 円			

(4) 利用者の概要 (10月23日現在)

利用者人数	8 名	男性	2 名	女性	6 名
要介護 1	3 名	要介護 2	5 名		
要介護 3	0 名	要介護 4	0 名		
要介護 5	0 名	要支援 2	0 名		
年齢	平均 83, 4 歳	最低	78 歳	最高	91 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	生和堂医院、秋田厚生連仙北組合病院
---------	-------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームは住宅街の一角に位置し、周囲に J R 刈和野駅、郵便局や公民館、食品センターや衣料品店等がある。また、和風の「憩いの家」を改修して、居室や居間、廊下など襖や障子を工夫し、利用者にとって温かで穏やかな雰囲気を醸し出している。利用者は、テーブル拭き、調理、食器洗い、配膳や後かたづけ等、それぞれの役割をもち、一人ひとりのペースで日常生活を送っている。職員は、「穏やかで温かく、笑顔あふれる暮らしを」の実践に向け、利用者や家族の希望に添った支援を行っている。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況 (関連項目: 外部4)</p> <p>前回要改善であった個別の栄養摂取状況の把握については、同法人内の栄養士の協力を得て献立のチェックが行われバランスの良い食事の提供に努め改善されている。近隣住民や周辺施設等の理解・協力への働きかけについては、地域住民の理解や協力を得るためには挨拶が大切と考え、管理者及び職員が日常の挨拶を意識的に心がけ、地域住民の理解や協力を得られるよう努めている。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目: 外部4)</p> <p>最近管理者となったが、今回の自己評価及び外部評価を実施することの意義を理解しており、この評価を活かし、具体的な改善に向け取り組むよう努めている。また、管理者、職員それぞれが前向きに利用者のサービス向上に意欲を持っている。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み (関連項目: 外部4, 5, 6)</p> <p>管理者、職員は自己評価や外部評価の意義を理解していると共に、運営推進会議等を活用し積極的にサービス向上につなげるよう意欲を持って取り組んでいる。市町村との連携については、受け身の姿勢が見受けられるので、運営推進会議以外でも市町村との行き来する機会をつくり、市町村と共にサービス向上に取り組むことを期待する。</p>
	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目: 外部7, 8)</p> <p>月 1 回のお便りに、担当職員のコメントを添え、利用者の暮らしぶりを伝えている。また、事業所内に苦情ボックスを設け家族や関係者からの意見を聞き、事業所の改善や運営に反映することができるようにしている。</p>
重点項目④	<p>日常生活における地域との連携 (関連項目: 外部3)</p> <p>地域との信頼関係は、挨拶からという考えから、管理者・職員は日頃から挨拶を行い、地域との信頼関係を築くよう努めている。さらに事業所が地域の一員としての付き合いや災害時の対応等を考慮に入れ、積極的な地域との関わりを保ち、交流を深めるよう期待する。</p>

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	法人の運営方針を理念に置き換え、管理者、職員はそれぞれ良質なサービスの提供に努めている。	○	ホームの地域密着型サービスの理念を作り上げることを期待する。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 運営者と管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	法人の運営方針を理念に置き換え、その運営方針に添い管理者及び職員は良質なサービスに努めている。	○	法人の理念と調和した、地域密着型サービス事業所としての理念を作りあげ、運営者と管理者と職員が理念を共有できるよう期待する。
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	日頃からホームが孤立しないよう、地域の人たちと挨拶を交わす様に努めている。また、公民館での行事や小学校の交流会にも参加し、地元の人々と交流することにも努めている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回、感染症対策でペーパータオルの使用や苦情受付等の取り組みについて改善課題と評価され、その評価を活かし改善に努める等、評価の意義を理解し、活用している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議を活用し、ホームの行事や利用者の状況を報告し、話し合いの中でホームの様子を地域住民や家族に理解してもらうと共に、そこでの意見をサービス向上に活かすよう努めている。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市町村との関係では、運営推進会議以外はなかなか行き来する機会がない。	○	ホームの運営においては、市町村との連携は利用者への対応やサービスの質の向上に欠くことのできないものである。積極的に市町村との連携を深めるよう期待する。
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月1回、ホームから便りを発行し、利用者の写真を添えて暮らしぶりや金銭管理等を知らせると共に、担当職員から家族宛のコメントを添え家族との信頼関係を得るよう努めている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情ボックスを玄関前に設置し、家族や訪問者が誰でも意見や要望を言い表せる機会を設けている。また、その意見を大切にサービス向上に反映させるように努めている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	利用者が馴染みの関係にある管理者や職員が異動の時は、利用者が不穏につながるがあった。	○	法人内事業所間の異動は、運営者として止むを得ないが、地域密着型サービスの事業所であることを鑑み、利用者へのダメージを防ぐ配慮や取り決めを設けるよう期待する。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、運営者自身や管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	事業計画の中に、職員を育てる取り組みとして、職員の研修計画があり計画的に研修を受ける機会を確保している。また、管理者は、介護に関する新聞のスクラップをファイルしており、働きながら学べる機会を作り出している。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、運営者自身や管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者は、近隣のグループホームとの交流研修会を年2回ほど実施し、相互訪問等の活動を通じ、勉強会、意見交換を行いサービスの質の向上のための取り組みをしている。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう本人又は家族等と相談しながら工夫している	利用者が安心して、サービスを利用するために、サービス開始前に本人の意見を聞き、その意見を尊重してサービスを行っている。また、利用者がホームや場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族と話し合い、本人が安心できるよう工夫している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	「介護する」ではなく、一緒に過ごしながら悩み、笑い、様々な場面で昔の知恵を教してもらったりして、共に支え合う場面づくりを行っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者の意向を把握するため、職員は努めて会話し、本人の希望や意向に添うように努めている。意思疎通が困難な利用者の場合は、普段の生活の中から意向をつかみ、利用者本位の支援に努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者や家族の双方から話を聞き、よりよい計画となるよう、職員や医師、その他の関係者の意見を取り入れ、本人の希望に添うような介護計画の作成に努めている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画は期間に応じて見直しを行っている。また、利用者の状況に変化があった場合は、本人や家族と話し合い現状に即した介護計画のみ直しを行っている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	家族の要望等には可能な限り応じるようにしている。希望があれば家族の宿泊等にも応じ、事業所の機能を活かした支援を行っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等の利用支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者や家族の意向を大切に、かかりつけ医の受診を行っている。また、近くに協力医院があり、本人の状況に応じて適切な医療を受けられるよう支援している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	契約時に、重度化した場合や終末期に関してよく話し合い、終末期における方針を共有することに努め、同意書を得ている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者一人ひとりのプライドに注意し、気分を損ねないように声かけには配慮している。記録等についてはプライバシーの確保のために事務所に保管し、個人情報の取り扱いに配慮している。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースを大切に、入浴時間や外出等、希望に添うよう支援している。また、本人の得意な歌などをさりげなく引き出し、皆で歌うなど日々その人らしい暮らしができるよう支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事が楽しいものとなるよう、献立の希望を聞いたり、職員と一緒に食事作りや後片づけ等を行ったりしている。職員は利用者それぞれの能力に応じた支援に努めている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングや健康状態に合わせて、入浴を楽しむように支援している	個々の利用者の健康状態を把握しながら、希望を取り入れ、一番先に入浴する人、午前中を希望する人、急に入浴を希望する人等々、臨機応変に対応するようにし、入浴を楽しむことができるよう支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者個々の生活歴や得意分野を見つけ、押しつけにならないようさりげなく声がけし、ホームでの役割や楽しみごとに笑顔のある生活ができるよう支援している。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	その日の天候や利用者の希望に添って、買い物や散歩、図書館の利用など外出ができるよう支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに努めている	夜間に玄関に鍵をかけているが、管理者及び職員は、日中玄関等に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアの実践に努めている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	地震や火災や夜間を想定した訓練を年2回実施し、日頃より安全に避難できるように努め、毎日の自主点検を行い災害対策に努めている。今後、地域住民の避難訓練等の参加協力が得られるよう期待する。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう状況を把握し、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者個々の食事量や水分摂取量を日々把握し、良い支援がなされている。献立は、利用者の要望を聞き、職員が行っている。同法人内の栄養士の協力を得て献立のチェックが行われバランスの良い食事の提供に努めている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や臭いや光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有の空間として居室前の廊下が広々としており、ソファが置かれゆったりとした昔ながらの雰囲気があり、居心地の良い空間となっている。昔ながらの木造であるが、不快な臭いはなく、庭には季節感を感じさせる木々や池があり、穏やかに生活できるよう工夫されている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、本人が使い慣れた馴染みの家具や好みの飾りなどが置かれている。夫や孫の写真や家族からの贈り物等が置かれ、穏やかな生活ができるよう配慮されている。		

※ は、重点項目。